

タイ国で廃棄物処理関連事業の基本設計業務を受託 ～ SCG Map Ta Phut New 8MW IWPP Project ～

当社は、Cementhai Energy Conservation Co., Ltd.（2019年2月1日付でSCG CEMENT CO., LTD.に吸収合併）より廃棄物発電プラントの基本設計業務等を受託しました。本件は、当社にとりまして海外の廃棄物処理プラント分野において韓国における案件（Pangyo, Paju）に続く3件目、タイ国では初めての受注となります。本件における当社の所掌は、基本設計、据付・試運転指導員の派遣になります。

当社は、流動床式ガス化溶融技術を核とした海外展開に取り組んでおりますが、タイ国をはじめ、東南アジア地域は、経済発展に伴い廃棄物発生量が増加しており、廃棄物発電施設の建設需要が高まると想定されます。当社は、本件を契機にタイ国ならびに東南アジアでのビジネス拡大を図るとともに環境保全、循環型社会の実現に貢献してまいります。



[案件の概要]

- 案 件 名：SCG Map Ta Phut New 8MW IWPP Project
- 契 約 先：SCG CEMENT CO., LTD.
- 業 務 内 容：基本設計および据付・試運転指導員の派遣
- 処 理 能 力：流動床式ガス化溶融炉
65 000 t/年、発電規模 8 MW
- 建設予定地：ラヨン県マプタプット工業団地



起工式の様子



完成予想図（SCG 社提供）